

第2章 京都丹後鉄道（東雲～丹後由良、宮津～福知山）

第1節 概要

旅日記まとめ先出の視点から、高山本線仕上げ旅の旅日記完結前に、京都・岐阜の旅の”まとめ”と”旅プラン”のみを前倒しして記載させていただきます。

2024年6月27日（木）からの4泊5日の京都・岐阜の旅、天気予報（大雨）を配慮し、7月1日の名古屋鉄道の笠松駅からの踏破を中止する事態となったが、それ以外は下記の通り有言実行ができた。

①来る8月5日（月）～8月6日（火）、京都で開催予定の第94回わいわい会（高松一高同窓歩き会）の下見をすることができた。



※東本願寺、東横イン五条



※栞、広隆寺



※東映太秦映画村

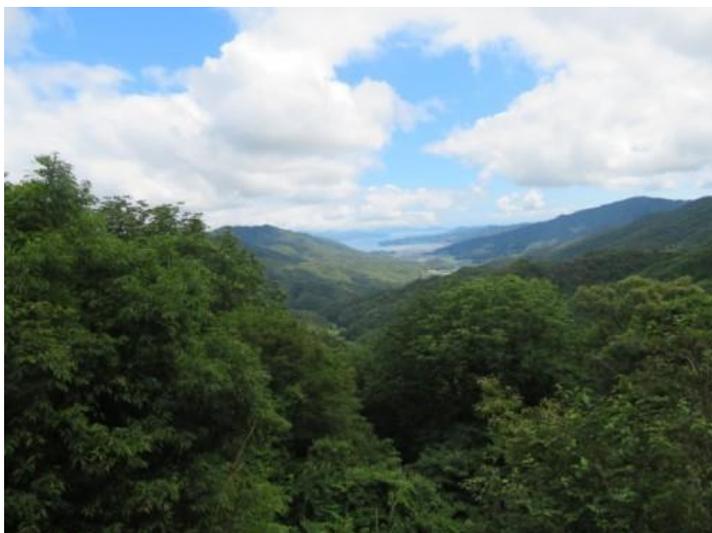
②京都丹後鉄道の宮舞線の丹後神崎駅から丹後由良駅までの区間（営業キロ 1.7 km）、由良川橋梁の登場で 2023 年 6 月 27 日（火）の段階で未踏破であったが、2024 年 6 月 28 日（金）東雲駅界隈の八雲橋から由良川を渡り、そして由良川沿いを歩き、丹後神崎駅から丹後由良駅も踏破することができた。ご参考までに宮舞線（西舞鶴～宮津、一部未踏破）と宮豊線（宮津～豊岡）は 2023 年 6 月 24 日（土）～6 月 27 日（火）に歩いた。



※由良川橋梁

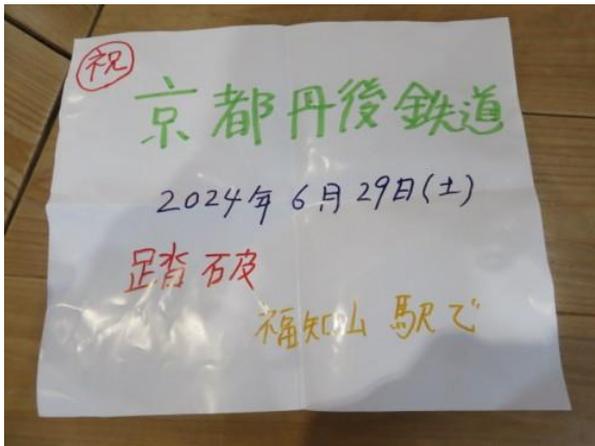
③宮福線（宮津～福知山：営業キロ 30.4 km）の最大の難所である辛皮駅は大江山などに遮られ、大きく迂回を余儀なくされ悪銭苦闘した。しかし、宮福線を13時間、93,100歩を要し、全駅舎立ち寄りにより、無事踏破することができた。なお、日が長い6月だからこそできた記録だと。ご参考までこれまでのベスト3の万歩計記録は次の通り。

順位	万歩計	沿線名	区間	営業キロ	日時	概要
1	115,294	東北本線	花巻～盛岡	35.3km	20150502（土）	足腰の痛みあり
2	86,721	宗谷本線	和寒～名寄	39.9km	20150621（日）	
3	84593	宗谷本線	天塩川温泉～名寄	45.3km	20150627（土）	最長1日営業キロ



※大江山界限からの宮津湾は最高であった





④名古屋鉄道の全線踏破の第1歩として、竹鼻・羽島線を踏破することができた。これで、高山本線と京都丹後鉄道路線が偶然にも繋がった。京都～綾部～西舞鶴～丹波神崎～丹後由良～宮津～福知山～綾部～京都～岐阜羽島～新羽島～笠松～名鉄岐阜～岐阜～高山～猪谷～富山（山陰本線＋舞鶴線＋宮舞線＋宮福線＋山陰本線＋新幹線＋名鉄線＋高山本線）。西舞鶴～宮津～豊岡～福知山～綾部～京都（宮舞線＋宮豊線＋山陰本線）。ただし、雨で集中力を欠き、残念ながら不破一色駅は未踏破となった。



※新羽島駅、名鉄岐阜駅

これで通算営業キロは、**1万5千772km**（活動日数**777日**、日本の鉄道**56.9%**、地球円周の**39.4%**）となり、当面の目標の1万6千キロまで228kmとなった。それにしても1万6千キロまでの道のりは遠いと痛感。

上記以外で今回の旅の特筆事項は次の通り。

①7名と人数は少なかったが、立命館数物48年卒同期会を京都嵐山（花のいえ）で開催することができた。



②嵐電鹿王院駅界隈の鹿王院（足利義満公縁の寺）は最高であった。また、芸能神社がある車折神社も参拝できた。



※鹿王院、車折神社

③丹後由良山駅で数分の到着時間の遅れで、約1時間の待ち時間が生じる。しかし、”人生万事塞翁が馬”でこの駅舎に滞在して居られた田淵正昭さんや丹後由良駅舎経営の女将さんと約1時間にわたり、歩き鉄を軸に話す機会を得、最高の一日となった。カッシーちらしを見て、私のこれまでの活動成果に驚いておられた。因みにこの駅は、半年位前中井精也さんが訪れた駅舎のことでアルバムに記念写真があった。



④宮津駅から大江山口内宮駅までの区間でデジカメの電池を使い過ぎて、大江山口内宮駅から福知山駅はスマホによる画像とのみとなり、道中記の撮影の制限を余儀なくされた。旅はメイクドラマが発生する。これがこだわり鉄道の醍醐味でもある。

⑤新スマホの検索機能の未調整のまま臨んだので、高山本線仕上げ旅と同様、現在位置が確認できず困った。これまでの第六感で対処を余儀なくされた。

⑥高山本線仕上げ旅と京都・岐阜の旅を次のような経路にすれば、経費と日程を合理的にした旅ができたと多少反省点が残った。

新横浜～名古屋～高山～猪谷～富山～敦賀～小浜～東舞鶴～西舞鶴～宮津～福知山～京都～岐阜羽島～岐阜～名古屋～新横浜

第2節 旅プラン

京都・岐阜の旅（営業キロ 48.4 km）

○2024年6月27日（木）晴れ

ひかり 633号 新横浜 7:51 → 京都 10:12

第94回わいわい会下見

車折神社、鹿王院の観光

数物48年卒同期会

京都泊（嵐山”花のいえ”：075-861-1545）



○6月28日（金）雨／曇り

嵯峨嵐山 10:14 → 亀岡 10:25

まいづる3号 亀岡 10:42 → 西舞鶴 11:54

西舞鶴 12:37 → 東雲 12:49

東雲～八運橋～丹後由良（＝丹後神崎～丹後由良：営業キロ 1.7 km）

丹後由良 15:59 → 宮津 16:12

宮津 16:30 → 福知山 17:24

福知山泊（福知山アークホテル：0773-24-3333）



○6月29日(土) 晴れ

福知山 6:29 → 宮津 7:22

宮津～宮村～喜多～辛皮(からかわ)～大江山口内宮～二俣～大江高校前～大江～公庄(ぐじょう)～下天津～牧～荒河かしの木台～福知山市民病院口～福知山(30.4 km)

福知山泊

○6月30日(日) 雨

きのさき4号 福知山 6:56 → 京都 8:21

ひかり642号 京都 8:33 → 岐阜羽島 9:09

新羽島～江吉良～羽島市役所前～竹鼻～不破一色～須賀～南宿～柳津～西笠松～笠松～岐南～茶所～加納～名鉄岐阜(16.3 km)

岐阜泊(コンフォートホテル岐阜:058-267-1311)



○7月1日(月) 雨

名鉄岐阜 7:35 → 名鉄名古屋 8:10

ひかり640号 名古屋 8:43 → 新横浜 10:24

第3節 1日目：6月27日（木）：第94回わいわい会下見&

数物同窓会 晴れ

2024年6月27日（木）晴れ、京都・岐阜の旅の初日は、京都へ移動し、次のような下見作業した後、イベントに参加する。



※新横浜～京都

○第94回わいわい会(高松一高同窓歩き会)の下見作業(10時15分～13時)

電車と徒歩で次の区間を移動し、下見作業を行う。

京都駅～東本願寺参拝～東横イン京都五条烏丸で事務対応～栞屋(宴会場確認)～四条烏丸～四条大宮～太秦広隆寺～東映太秦映画村会場(場所・営業時間確認)～太秦広隆寺



阪急四条大宮駅、嵐電四条大宮駅



※広隆寺



※東映太秦映画村



※太秦広隆寺駅に面した店でランチ

○車折神社、鹿王院の観光（14時～16時）

空き時間を利用し、本日宿泊する花のいえに出向き、重いリュックを預かってもらう。同時に花のいえから明日乗車する JR 嵯峨嵐山までの所要時間をチェックする。

太秦広隆寺～鹿王院～花のいえ（リュック保管依頼）～嵐電嵯峨～嵯峨嵐山～嵐電嵐山～車折神社



※車折神社、芸能神社（里見浩太郎さんの名も）



※鹿王院

鎌倉時代
鹿王院

鎌倉時代
鹿王院

案内図

文庫

- 経典部(蔵書) 10巻、表紙10枚、200枚
- 宗廟部(蔵書) 10巻、表紙10枚、200枚
- 宗廟部(蔵書) 10巻、表紙10枚、200枚
- 宗廟部(蔵書) 10巻、表紙10枚、200枚

鹿王院

〒014-8307 宮城県石巻市鹿王町北原町
TEL (075) 861-1645

本堂

宝物

宝物には後醍醐天皇御願・聖徳太子御願・可成山山王等、重要な史料・古文書等を多数を所蔵している。

なお仏教経典の題、女性の御遺物が所蔵されている。

り、運慶作の釈迦及十大弟子がまつられ、権作の右に、圓空作の釈迦及十大弟子がまつられ、権作の左に、圓空作の釈迦及十大弟子がまつられている。

現在の堂宇の大半は明治初期の子息、虎次郎の再興にかゝるものである。



○第 10 回立命館数物 48 年卒同期会への参加

大浴場で汗を流した後、17 時 45 分より約 2 時間同期会開催。各自近況報告を時計周りでスピーチ。次回 11 回同期会は、2025 年 5 月 22 日（木）～23 日（金）神戸で閉幕となる。その後部屋に戻り、22 時頃まで 2 次会で盛り上がる。隙間時間を活用し、各自寄せ書きを記入する。私は、「一期一会を大切にしたい」と記載する。楽しい数物同期会であった。



※花のいえの料理一例



※2 次会の模様

第4節 2日目：6月28日（金）：東雲～丹後由良 雨／曇り

2024年6月28日（金）雨／曇り、京都・岐阜の旅の2日目は、宮舞線（西舞鶴～宮津：営業キロ24.7）中、由良川橋梁（552m）のため不連続になっていた区間（丹後神崎～丹後由良：営業キロ1.7km）のフォロー。花のいえでゆっくり朝食を頂き、ロビーで暫く寛いだ後、9時50分頃チェックアウトする。同期のメンバーと来年の再会を誓ってこの施設を後にする。嵯峨嵐山10時14分発の列車で亀岡まで向かい、そこからまいづる3号で西舞鶴（11時54分）まで移動する。旅また旅で睡眠不足であったので、懐かしい車窓からの風景は殆ど見られず。西舞鶴12時37分発の列車（一両編成）で東雲（しののめ）駅までに移動する。東雲駅には12時49分到着。そして、以下のような道中記で丹後由良駅まで歩く。



※花のいえロビーで寛ぐ



※嵯峨嵐山駅、保津峡駅、亀岡駅



※まいづる号、まいづる号からの風景、上手く乗車券を創って貰いました





※西舞鶴駅



※いざ東雲駅へ

花のいえを出る際は雨模様であったが、運よく西舞鶴駅に到着する頃には曇り空になっていた。東雲駅界隈をデジカメに収めて、丹後由良駅を目指す。13時34分、府道571号線を歩く。右手に土手があったので、13時6分、土手に上がりそのまま直進する。土手の右手に由良川があると思ったが、田んぼであった。田んぼから100m位歩いた先に由良川があった。八運橋は1km位西舞鶴方面に戻った先にあった。すなわち、東雲駅から八運橋の距離は1km位とすると、東雲駅から丹後由良駅までの距離は、「東雲～丹後神崎（3.8km）＋東雲～八運橋（1km×2）＋丹後神崎～丹後由良（1.7km）」により、約7.5kmとなる。この距離を今から歩くことになる。



※東雲駅





※八運橋への路

八運橋には13時19分到着。この橋は万歩計で218歩あった。この橋を渡り暫く歩くと、13時28分、国道178号線（丸田東）に合流する。この境界は舞鶴市丸田町であった。13時50分、和江神社前で本日の安全を祈願する。14時15分、舞鶴市から宮津市となる。14時21分、宮津市石浦で天橋立17km、宮津市街14kmと記した標識前を通過する。遠くに由良川橋梁がチラッと見えるが、ここからこの橋梁まで遠かった。右手に由良川が見えて来る。14時51分、由良架道橋を潜り、鉄道の右側となる。丹後由良駅には15時3分到着。当初予定した列車14時58分に乗り遅れる。



※八運橋を渡る





※丹後由良駅への路



※由良川橋梁



※丹後由良駅近し



※丹後由良駅

しかし、先日公開したブログ（投稿日 2024 年 7 月 1 日）でもご紹介した通り、丹後由良駅で田淵さんや丹後由良駅の喫茶コーナーの女将さんとの素晴らしい出会いがあり至福補ひと時を過ごすことができた。





※写真家田淵さんとの歓談現場





※見送って頂く

15時59分の列車で宮津駅そして福知山駅を目指す。栗田（くんだ）駅までは1両の車両は満席の状態であったが。この駅で沢山の乗客が下車し、座れる。14時58分の列車に間に合っていれば、宮津～宮村～喜多（3.1km）の予定であった。しかし、宮福線の踏破を終え、前倒したプランにしなくて大成功。仮に、14時58分の列車に間に合っていれば、丹後由良駅での楽しい思い出はなかったし、宮津16時30分発の列車に乗り遅れているかも知れないと。ここでも天や神のご加護を強く痛感する。



※宮津駅で乗り換え



※福知山駅へ

懐かしい福知山駅には 17 時 57 分到着。そして、懐かしい福知山アークホテルには 17 時 57 分到着。汗を流した後、ホテルの一階にある和楽で本日の疲れを癒す。充実した一日であった。



※ホテル 1 階にある和楽で祝杯